



牧之原市・白河市
観光・文化交流に関する協定書



静岡県牧之原市と福島県白河市(以下「両市」という。)は、2025年NHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の放送を契機として、かつてそれぞれの地を治めた名君、遠州相良藩主・田沼意次侯と奥州白河藩主・松平定信公の縁に基づき、過去の恩讐を超えた新たな関係を構築することを誓いあった。

これまで両市は、相互のイベント参加や災害時における応援・復興支援などを通じ、官民一体となって交流を深めてきた。ここに、両市の歴史的な深いつながりを礎として、この絆をより一層強固なものとし、連携及び協力をさらに推進することで、観光交流の活性化や歴史・文化の振興に寄与することを目的とし、次のとおり協定を締結する。

(連携及び協力する事項)

第1条 両市は、本協定の目的を達成するため、次に掲げる事項について、相互に連携及び協力するものとする。

- (1) 観光及び産業の振興に関すること
- (2) 歴史的関わりや文化を通じた交流促進に関すること
- (3) 住民の交流促進に関すること
- (4) 民間資源を活用した取組に関すること
- (5) その他、協定の目的達成のために必要な事項

(協議)

第2条 この協定に定めのない事項及びこの協定に関し疑義が生じたときは、両市が協議して定めるものとする。

この協定の成立を証するため、本協定書2通を作成し、代表者が署名のうえ、各1通を保有するものとする。

令和8年4月12日

静岡県牧之原市長

杉本 基久雄

福島県白河市市長

鈴木 和夫